

# 「住み続けたい」と感じる便利で快適なまちへ 津山市スマートシティ構想

問 デジタル推進室 ☎ 32-2119

デジタル化の推進には、地域の産業の生産性や生活の質を飛躍的に向上させ、地域の魅力を高める大きな可能性があります。

市では、市のさまざまな課題を踏まえた7つの分野の将来目指す姿とデジタル技術を使った取り組みの方向性を示す「津山市スマートシティ構想」を作りました。

住民の皆さん一人ひとりに寄り添ったサービスを提供することで、暮らしへの満足度や幸福感を向上させ、将来にわたって「住み続けたい」と感じられる便利で快適なまちを目指します。

## デジタル技術を活用した主な取り組み

7分野

### 産業・観光／文化

- ICT\*1の導入・利活用による生産性の向上、ICT人材の育成・支援
  - 観光・文化遺産のデジタル化など
- \*1 情報通信技術

### 交通

- 公共交通プラットフォーム\*2の構築、交通データ分析の高度化
  - 次世代MaaS（マース）\*3の導入
- \*2 システムの運営などに必要な土台になる環境  
\*3 利用者に合わせて、観光や医療などと交通機関の情報を組み合わせ、予約・決済などを一括で行うシステム

### 行政

- 窓口のオンライン受付
  - 書かない窓口
  - 津山市ポータルサイト\*4の整備
- \*4 情報の入口になるウェブサイト

### 教育

- 新しい教育データを加えた、津山版教育プラットフォームの構築

### 健康寿命

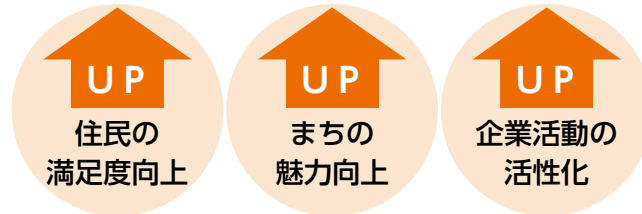
- 健康増進サービスの開発・改善
- 健康・医療・介護情報の統合と一元管理する基盤づくり

### 環境／エネルギー

- ICTの活用による森林保全の促進を通じた公益的機能の維持・向上
- 環境行動に対する成果報酬の付与

### IT基盤

利便性の向上や相乗効果を発揮するため、サービス間で相互連携できる基盤を整備



例えばこんな少し先の未来の姿を目指します

### 産業 津山の経済が活性化

- ✓ 会社のDX\*5を推進



\*5 デジタルトランスフォーメーション。デジタル技術を活用してより良いものにする取り組み

### 行政 行政手続きが便利に

- ✓ 津山市のポータルサイトに世帯構成を登録



### 健康寿命 生活習慣が改善

- ✓ 食事内容を入力しなくても、他の情報から自分の栄養状態が分かるアプリを入手

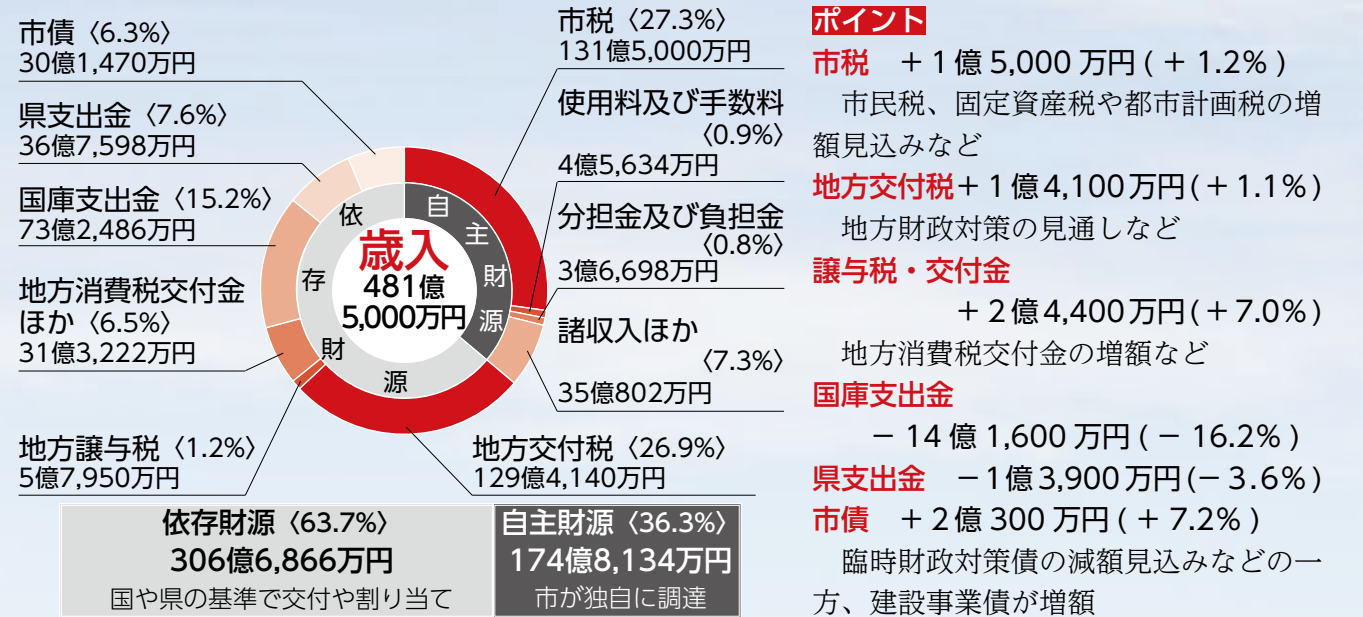


スマートシティ構想について詳しくは、市ホームページをご覧ください



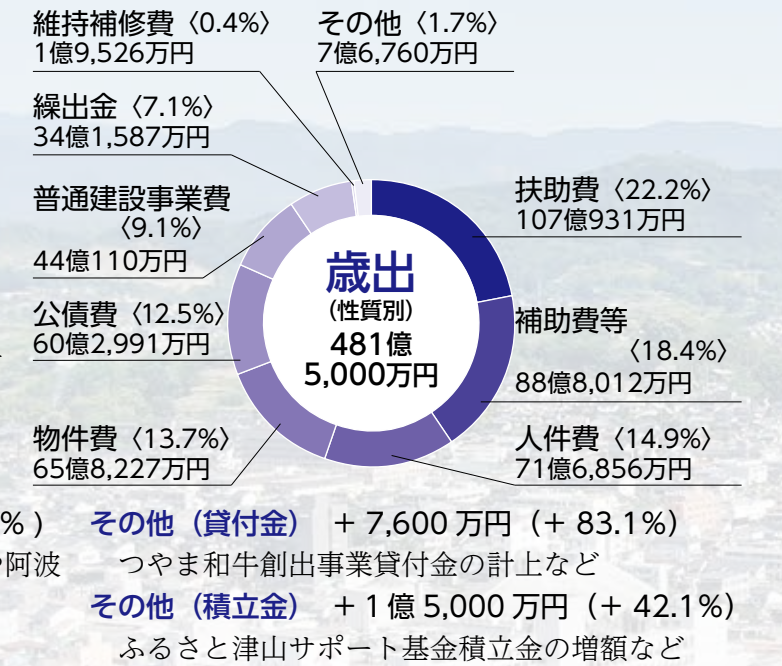
## 令和5年度当初予算

一般会計 内訳と概要 (前年度比-2億5,800万円\*6月補正予算後)



### ポイント

- 扶助費 -4億9,700万円 (-4.4%)  
臨時特別給付金事業の終了など
- 補助費等 -2億7,900万円 (-3.0%)  
地域商品券発行事業の終了など
- 人件費 -2億4,600万円 (-3.3%)  
定年延長による退職者の減少など
- 物件費 +1億600万円 (+1.6%)  
ワクチン接種事業費が減った一方、スマートシティ構想推進事業費などが増額
- 公債費 +5,800万円 (+1.0%)  
市債元金償還金の増額など
- 普通建設事業費 +5億6,600万円 (+14.7%)  
公共施設やスポーツ施設のLED化事業や阿波地域交流施設大規模改修事業などの増額
- 維持補修費 -8,600万円 (-30.6%)  
道路維持管理費の減額など



## 全体の予算額

会計	予算額	会計	予算額
一般会計	481億5,000万円	下水道事業会計	80億5,381万円
特別会計	107億5,914万円	水道事業会計	60億1,598万円
介護保険	107億5,914万円	工業用水道事業会計	9,887万円
国民健康保険	92億2,904万円	財産区会計	3,160万円
土地開発公社清算事業	19億4,489万円	<b>総額</b>	<b>859億6,508万円</b>
後期高齢者医療	15億6,712万円		
食肉処理センター	8,662万円		
公共用地取得事業	1,107万円		
奨学金	1,000万円		
磯野計記念奨学金	694万円		

予算の概要は、市ホームページで見ることができます

